



現場に寄り添い 未来を動かす

石田まさひろ

参议院議員

友納りお

参议院議員

☑ 報告

看護協会・看護連盟共催研修

看護サマリーから生活機能サマリーへの昇華

鹿児島県の看護と政策を考える意見交換会

2025 年九州ブロック政策セミナー

看護連盟リーダー研修III～参议院選挙 私たちはこう戦った～





議員秘書ってどんな人？

国会議員秘書と聞いて、皆さんはどんな印象を持たれますか？

「悪い企業とつるんで、悪事を働き、最後は口封じで殺される役？」というのは、刑事ドラマの見過ぎです。

実際は、**国会議員が仕事をしやすいよう陰でサポートするのが役割です。議員の面談のセット、移動の手配、会合やセレモニーの代理出席、役所対応、支援者対応、陳情対応、会計経理 etc. いろんな仕事を分担して進めています。**

国会議員の重要な仕事の一つに「質問」があります。

委員会での質問や、本会議での代表質問（党を代表する）です。国会での「質問」はそれにより大臣からの「答弁」を引き出す重い行為です。立法府の代表が、行政府の代表と質疑するわけですから**公式なもので、その発言は未来永劫、議事録に残ります。**

この質問内容、国会議員の中には役所に丸投げして代わりに作ってもらったりする人もいるようですが、石田議員はしっかり自分で作成します。政策秘書である私は、議員の質問案のファクトチェックや言い回しの微修正を行うだけなので、ちょっと申し訳ないです。それほど石田議員の知見は広く深いのです。

議員の実績や長所をアピールし自慢して回るのも、秘書の大切な役目です。本人が自慢しないので。これからも石田議員と石田昌宏事務所をよろしくお願いします。



— 著者プロフィール —

五反分 正彦

石田まさひろ参議院議員政策秘書
鹿児島県鹿屋市出身

会長の挨拶

2026



現場に寄り添い、 未来を動かす連盟へ

鹿児島県看護連盟 会長

田畑 千穂子

CHIHOKO TABATA

春光やわらぐ季節となり、皆さまには日頃より県看護連盟活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本会では会員減少が依然として大きな課題であり、魅力ある活動の発信と若手育成の推進が急務となっております。来年度より青年部が支部へ活動を広げ、若い世代の政治への関心を高めていることは、連盟の将来を支える重要な力であると感じております。

こうした状況の中、今年度後半は48施設を訪問し、現場の実情に直接触れる機会を重ねてまいりました。12月には県看護協会会長の八田玲子氏、地区理事・支部長とともに始良・霧島地区6施設、南薩地区9施設を訪問いたしました。8月の国分・霧島豪雨災害では、中核病院が隣接する老健施設の高齢者避難を受け入れ、1階の壊滅的な浸水被害や断水の中で看護管理者が必死に対応された状況を伺い、大規模災害発生直後における迅速な支援体制の必要性を改めて共有したところです。また、南薩地区では県医師会長との意見交換も行い、地域医療の課題を多面的に確認することができました。

さらに1月には、友納理緒参議院議員と大隅地区7施設、石田昌弘参議院議員と鹿児島市街9施設、柴立県議と市内中心部18施設を訪問し、精神科・産科・クリニックなど多様な施設で深刻な課題を伺いました。特に人材不足は喫緊の課題であり、現場の声を政策へ確実ににつなげていくことが連盟の重要な使命であると再認識したところです。

また、日本看護連盟より次期参議院選挙の候補者として友納理緒氏が推薦されました。本会では本格的な活動に向けてTシャツを作成し、1月31日のリーダー研修Ⅲにてお披露目いたしました。良好なスタートを切ることができ、今後2年間、友納氏とともに地道な連盟活動を展開してまいります。

今後も会員の皆さまが安心して活動できる環境整備に努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



参議院議員

友納りお

RIO TOMONOH

ともうりお official site
<https://tomonoh.net/>

ぜひ
Check

年明け1月23日に国会が召集され、第220回通常国会が開会いたしました。同日、衆議院が解散され、総選挙が実施されました。その後の第二次高市政権でも、環境大臣政務官兼内閣府大臣政務官として再任していただきましたので、引き続き政府の一員として頑張ります。



・産後ケアイベント

3月5日は「産後の日」。産後ケアのイベントを発案し、日本助産師会主催で開催。産後の母親が孤立しやすい現状を社会に広く発信するとともに、助産師による継続的な産後ケアの重要性について理解を促進することを目的としています。当日は、お子さんを連れた当事者の母親の方々にも多数ご参加いただきました。



委員会の質疑の様子は右記 QR コードから



LINE マガジン配信しています。



参議院議員

石田まさひろ

MASAHIRO ISHIDA

石田まさひろチャンネル

ぜひ
Check

ぜひ左記 QR よりご登録お願いします！

参議院は熟議の府とも言われていまして、審議時間も中身もしっかりしようという考え方が与野党ともにあります。

その中で3月末までに国民生活に影響がないように進めるにはどうしたらいいか非常に難しい局面に置かれています。私は予算委員ですが、そこでもしっかり質疑に加わっていきたいと思います。また、その中で質問を2解する機会がありました。連続して行ったのは、これまでの議員生活の中でもなかったことなんですが、予算委員会と厚生労働委員会で質問をしました。予算委員会ではドクターヘリについて取り上げました。これは、現在整備士が不足したりしていて運休が起きたりしています。そのような状況について国の関与を求める内容であるなど話をしました。

厚生労働委員会では、看護学校の受験者が減っていることの例にしながら地域、特に地方の医療をどのように守るのか、今までのやり方では見込みが思っていて、しっかりとした供給の想定をしながら地域医療を抜本的に変えていくといったことを提案しました。

また電子カルテについても、そのあり方について意見交換をしました。

国会での活動もどんどん増えていますが、地域医療、ひいては国民を守るためにしっかりと頑張っていきたいと思っています。

(—2026年3月26日挨拶動画より—)

※上記コメント LINE マガジン内での議員動画より、書き起こしています

令和7年度鹿児島県連盟研修 看護記録 看護サマリーから生活機能サマリーへの昇華

2025/10/04

株式会社かこしま医療 IT センター 宇都由美子先生

鹿児島県市町村自治会館 401 号室

令和7年10月4日、かこしま医療ITセンターの宇都由美子先生をお招きし、「看護サマリーから生活機能サマリーへの昇華」というテーマで鹿児島県看護連盟研修が開催されました。

講演を拝聴し、人手不足が叫ばれる昨今、マンパワーの拡充だけに頼るのではなく引き算の思考で業務をやめる・減らす・変える必要があると感じました。また、看護サマリーを生活機能サマリーに昇華することで、生活者としての対象について情報連携を強化できると学びました。この他、サマリーや書類の作成支援についてもAI活用の可能性が示唆されました。AIを有効活用するために、私たち看護職もAIリテラシーを身につけていく必要があると感じました。



看護協会・看護連盟共催研修 鹿児島の新たな看護の未来をみんなで描きともに創ろう！

2025/09/06



都道府県別会議報告

2026/01/24

寶藏 眞弓
(副会長) = 文・報告

令和7年度都道府県別会議が1月24日に行われました。会議では、看護連盟の存在意義（パーパス）を策定していくことを改めて共有し、今後の活動に向けた課題と方向性について、意見交換を行いました。

若い世代への発信のあり方や、会員減少・認知度向上への取り組みとしてSNSの活用や日常的な声掛け、施設訪問や研修を通じた関係作りの重要性が確認されました。

看護の現場の声を社会や政治に届けるためには、選挙の時だけでなく、日頃からの継続した行動が不可欠です。会議から得られた情報をそれぞれの立場で実践し、仲間とともに看護連盟の力を更に高めていきたいと思います。

2025年度鹿児島県看護協会・看護連盟共催研修が鹿児島県市町村自治会館にて72名の参加で開催されました。会では看護協会活動・看護連盟活動について両会長が鹿児島県の看護行政の動向について県保健福祉部医師・看護師人材課技術主幹兼看護係長の古屋氏が説明されました。

ついで、「2040年新たな看護の将来ビジョンについて」持続可能な看護の提供体制と看護の力で地域を支える時代へ」と題して日本看護協会の秋山智弥会長による講演がありました。日本看護協会初男性会長の秋山氏はこれまでの自身の経験を踏まえ、今看護に必要な力はコミュニケーション力・発信力・察する力であること等を丁寧に話された。

その後グループワークでは参加した看護管理者の方が楽しい雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。最後に秋山会長の好評として情報が多くあいまいで先が見通せない・予測がつかない状況の中でも、働きながら考え前に進んでいく、実際に実践していると思うが管理者はこの力をもっと鍛えていく必要がある。看護とは何かを経験を話していくことが重要であり、看護管理者自身がワクワクとした楽しい姿や背中を見せて欲しいと熱く語られ会は終了しました

2025 年九州ブロック政策セミナー

2025/12/04,05



2日目は日本連盟福田常任幹事の講演で始まり、国際医療福祉大学大学院教授 福井副大学院長による講演はこれからの高齢者の質的变化が起こり入院前から要介護状態フレイル状態であり2035年未来の看護のリーダー像VUCAの時代暮らしを支える看護のリーダー協奏経営

「仕組み」ではなく「場」

福岡県看護連盟久富会長の看護の声を政策に届ける看護師の役割は重要という挨拶で会が始まりました。「これからの連盟活動」と題して日本看護連盟高原会長の講演や日本看護協会松本常任理事の講演、全国都道府県議会議員会蔵内勇夫会長による講演。石田議員からは「人口減少社会に求められる看護政策」について看護職が足りないではなく看護が足りない看護の未来は私たちが作る、量をまもり質を追求することが大事であるとビデオメッセージがあった。

これからの連盟活動

2025年12月4日・5日の二日間福岡県のナースプラザ福岡及び福岡イーセントホテルにて開催され、鹿児島県看護連盟役員4名と看護協会常任理事1名、病院から新任看護部長1名の6名が参加した。

会員確保に向けて

グループワークでは会員確保に向けた取り組みと課題について討議がなされ福岡・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島県の支部長等の役員及び青年部や看護学校教員等様々な立場の方と各県の現状を踏まえ、看護協会との連携や若者へ向けた連盟への活動参加について参加することで魅力伝えるなど参考になる意見を聞くことができた。

今回の研修を通して、連盟活動に生かすこと研修会の内容設定や会員増に向けての目標設定について考え検討していく各支部の5%増を目指す等具体的な数値目標設定が大事と感じた。

鹿児島県の看護と政策を考える意見交換会

2025/11/29

11月29日、鹿児島県議員、鹿児島市議員を交えて年一回の意見交換会が開催されました。看護師62名と各議員16名の計78名の参加でした。

私は、この意見交換会を私達看護師の現場の状況を議員さん方に熱く語れる絶好の機会であると思っています。

会に先立ち、石田昌宏参議院議員が鹿児島県にお越しいただき、病院経営について、補正予算の話と、看護師の業務負担となっている記録についても、看護必要度など見直しが必要だと述べていました。

また情報交換として、種子島医療センターでの看護専門学校サテライトの設立や、池田病院のダブルジョブ体制の話など興味深い話もあり、その熱の冷めないまま、グループワークが開始され、地元の議員と共に語り合える有意義な時間となりました。給料のことはもちろん、人材不足、業務過多など悩みや相談は多岐に渡り、現場の生の声を届ける良い機会となりました。

次年度の診療報酬改定の結果を見据えながら、その後の状況についてまた、議員さん方と熱く語りあえたらと思います。「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」を目指し、私達看護師も頑張っていきたいと思います。



前永 和枝（鹿児島第1支部支部長）＝文・報告



正会員 看護職の方

日本看護連盟会費	5,000円
鹿児島県看護連盟会費	3,000円
合計 年間	8,000円



賛助会員

賛助会員年会費 1,000円

鹿児島県看護連盟の活動に賛同いただける方はどなたでも加入いただけます。



学生会員 年会費無料

看護師、保健師、助産師又は准看護師の資格を得るために学ぶ学生で、看護連盟の主旨に賛同していただける方

申し込み方法

入会手続きや申込み書類のご請求は、事務局へ電話・FAX・メールにてお問い合わせください。

会員情報変更

住所や所属施設など会員情報に変更がある方につきましても下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

鹿児島県看護連盟事務所

〒892-0816 鹿児島市山下町9番31号 電話 (099) 219-5334
第一ボクエイビル203 FAX (099) 219-5336

Eメール: office.kagoshima@kango-renmei.gr.jp

編集後記 EDITOR'S NOTE

本号では、「看護と政策」をテーマとした研修や、日々の実践を支える看護記録に関する研修の報告を掲載しました。いずれの研修からも、現場で働く看護職一人ひとりの専門性と、その積み重ねが看護の質を高め、ひいては制度や社会を動かす力につながっていることを改めて実感しました。日々の忙しい業務の中でも、こうした学びや対話の場を大切にしながら、看護の未来をともに考えていければと思います。本誌が、その一助となれば幸いです。

広報委員：有木・森田・畑中

Report

看護連盟リーダー研修Ⅲ ～参議院選挙 私たちはこう戦った～

2026/01/31



1月31日「看護連盟リーダー研修Ⅲ」参議院選挙 私たちはこう戦った」が開催されました。冒頭、みやじ拓馬議員が急遽駆けつけてくださり、会場の熱気は一気に高まりました。続いて、友納りお参議院議員が登壇され、「看護の未来」をテーマに熱く語ってくださいました。深刻な看護師不足に対し、看護DXの普及の必要性に言及されICTやAI活用 of 必要性を説く一方、専門職として「人にしかできないこと」を整理する重要性について広い視野と深い知見からお話しいただきました。

講演Ⅱでは、いまきいれ総合病院と鹿児島厚生連病院より、石田まさひろ議員の当選に向けた参議院選挙の奮闘が報告されました。本研修を通し、看護職の代表として友納りお先生を2年後も絶対に政界へ送り出そうという決意を参加者一同が新たにすると感じました。

自分たちの職場を快適にするために「届けよう看護の声を！わたしたちの未来へ」を胸に頑張っていきましょう。

木之瀬 真由美（鹿児島第3支部支部長）＝文・報告



世界に誇れる羽毛ブランド
HARUO DOWN

いい羽毛からしか、
いい羽毛ふとんは生まれない。

GOOD DESIGN



HARUO DOWN▲



品質保証 HARUOラベル



東洋羽毛九州販売株式会社

〒890-0063 鹿児島県鹿児島市鴨池1-64-25ウイング鴨池1-B

鹿児島営業所

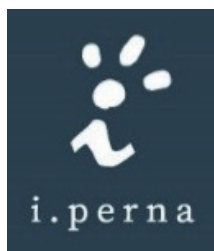
F 0120-881-125



生活に潤いと豊かさを求める世界の人々に

取扱商品

- アコヤ真珠 ●ベビーパール
- 黒真珠 ●南洋真珠（白・ゴールド）



イッシン iS パール（同）

〒862-0920

熊本市東区月出8丁目3-52

☎0120-32-2020

ip erna by イッシン

営業時間 9:00~17:00 定休日 日・祝日